



近藤隆則 市長
石田芳生 議長

新春対談

新しい年を迎えるにあたり、
近藤隆則市長と石田芳生議長が
令和6年について語り合いました。

市長・議長

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

また、先日の能登半島地震により被災された皆様から
お見舞い申し上げます。

市長 発災から2日後の1月3日には救援物資を届けるため
に職員2名を石川県かほく市へ派遣しました。今後も被災状
況が分かり次第、できる限りの支援を行ってまいります。

議長 迅速な対応だったと思います。引き続き、被災された
皆様に寄り添った対応をよろしくお願い致します。

2023年を振り返って

市長 新型コロナウイルスが感染症の5類に移行し、それま
で止まっていた地域のイベントやさまざまな行事が復活し、
まちに賑わいと活気が出てきたことをうれしく思う1年でし
た。

観光では、猫城主さんじゅーろーが在位5周年ということ
で記念式典がありましたし、吹屋では「ポケモンGO」との
コラボ企画、マスキングテープのイベントの効果などで順調
に観光に来られる方が増えています。まちに人を呼び込む体
制が整いはじめました。また、昨年は野球の世界大会・WB
Cで日本チームが優勝したことに關して、監督の栗山英樹さ
んが方谷さんの「盡己」という言葉を胸に刻みながらWBC
を戦っておられたということで、市も応援メッセージを送ら
せていただきました。その後、直接お電話と直筆のお返事を
いただき、方谷さんが繋いでくれたご縁に感謝する1年にも
なりました。

議長 議会では、議会報告会や市民との意見交換会を再開す
ることができました。団体や市民の皆さんのご都合に合わせ
た議会報告会にしようと、現在建設中の有漢義務教育学校の
運営団体の皆さん、市内の母親クラブにも声掛けをさせてい
たきました。

市議会議員は市民の代表と言われますが、各地域で核とな
ってそれぞれのイベントなどで市民の皆さんと一緒に高梁を
盛り上げたいという思いで、地域の一員としても活動させて
いただきました。

市長 議会報告会について、多くの方に興味を持ってもらう
ために取り組みをされたというのは非常にありがたいことだ
と思います。議員という枠を超えて、コロナ後の地域をみん
なで盛り上げていこうといういろいろな活動をしていただき感謝
しています。

人口減少への対策

市長 これからは、いかに人口減少の割合を減らし、減少率
を緩めていくことが求められます。今後、AI（人工知能）や
ICT（情報通信技術）の時代を迎えます。これまで人間がや
っていたことをICTに置き換えていきながら、不自由なく
生活できるまちのあり方を模索していく必要があると思いま
す。

日本国内の年間出生数が80万人を下回り、高梁市では10
0人を切ってしまったという状況ですが、これを現実として
受け止めなければなりません。ただ、その中で、例えばどこ
で暮らしても生まれ育った「高梁」をずっと心に想い、他の